

サポセン通信

4月号

2018年4月発行

長岡京市
市民活動サポートセンター発行
バンビオ1番館1階
TEL:075-963-5505
FAX:075-963-5523

～長岡京・市民活動サポートセンター（略称：サポセン）新年度にあたり～
今月号は新年度と云うことで、年間事業計画を簡単に紹介してみたいと思います。



【運営理念】

長岡京市との協働のもと、公共的で公益的な街づくりの為の活動を展開し、地域社会に貢献することを目的とします。

【基本方針】

*それぞれの活動団体の自主性・主体性を尊重した上での支援を行います。
*市民活動団体の基盤強化と、多くの人に共感を促すようなセンター事業を展開します。
*活動団体間の連携・協働を図り、「新たな公共」を意識した活動の質的向上並びに価値の創造を目指すと共に、これから街づくりに貢献します。

【カテゴリー別事業計画】

1)ネットワーク事業（全体交流会、分野別交流会、行政との対話）では特に分野別交流会に重点を置いた取組みを行います。



2)情報発信事業（サポセン通信、ホームページFaceBook、サイネージ、チラシ配架台）では、それぞれの特性に応じた取り扱いで支援します。



3)研修事業（団体向け研修やセミナーの開催）では登録団体の問題解決のための支援を行います。



4)相談・アドバイス事業では、活動団体や市民からの相談に応えるためのノウハウを蓄積します。

5)コミュニティ活性化事業（サポセンフェスティバル）では、雨天の時を想定した日程配置を行います。併せて従来の竹あそびの中の竹あかりはサポセンフェスティバルと同日開催とします。



6)その他の活動支援として、印刷機・コピー機、紙折り機、ラミネート加工機、パソコン等備品の貸出を行っています。特に印刷機は職員不在時にも利用出来るようキーカードを貸出しています。

9:00～21:45（休館日は除く）



こんな事や相談等受付けています！

@サポセンの電子看板やモニターテレビに掲載して欲しい！
@チラシを作りたいけどイラストなどを入れるのが面倒くさい！誰か作って！
@パソコンの操作が分からない！誰か教えて！
@備品を買いたがまだ使えるので誰か使って！ Etc



イベント活動情報

【サポセン主催】

上手な記事の書き方講座取材報告



3月3日土曜日午後から、サポセンにて『上手な記事の書き方教室』講座を開催。京都新聞の方をお招きし、15名ほどの方が参加され、前半は現役時代の秘話などを交えながら記事を書くコツを話してくださいました。

後半の質疑応答では、時間ギリギリまで活発に色々な質問が飛び交い、普段私たちが聞けないような貴重なお話が盛り沢山♪文章は一日1回は書きましょう！を肝に銘じ、もっと皆様に読んで頂ける会報誌を目指したいと思いました(^^)

(記事 和谷)



【登録団体イベント予定】



西山古道・お花見ハイキング

(NPO 法人京おとくに・街おこしネットワーク)

- ◆ 日時：4/7(土) 9:00
- ◆ 場所：善峯寺バス停集合
- ◆ 参加費：1,000円



小塩山カタクリ観察会

(乙訓の自然を守る会)

- ◆ 日時：4/15（日）9:00
- ◆ 場所：小塩山山林道ゲート集合
- ◆ 参加費：無料 弁当他持参



長岡京市民管弦楽団・第27回定期演奏会

- ◆ 日時：6/17(日) 13:30 開演
- ◆ 場所：長岡京記念文化会館
- ◆ 入場無料(要整理券)



※只今、こちらの記事枠の募集をしております。
登録団体さんのイベント・募集など掲載ご希望のかたはご遠慮なく事務局まで



長岡京市 市民活動サポートセンター

<http://bambio.jp/nijit/>

【長岡京市市民協働部自治振興室主催】

3/10(土) 活動発表会＆団体交流会取材報告



3月10日(土)中央生涯学習センター6階創作室1に於いて長岡京市市民協働部自治振興室が主催する市民活動発表会＆交流会が開催されました。市民活動サポートセンターに団体登録されている子どもと共に育つ親の

会フェリーチェ、結いの会、乙訓地名詩編纂「チーム乙訓」、すくすくキッズテン、まちづくり女子会の各代表者の方々が、これまでの活動報告やまた、団体活動をするうえでの悩みや要望点などをそれぞれに熱く語っていただきました。その後の交流会では団体同士の繋がりのきっかけとなるような会話が交わされ、短い時間ではありましたが今後の活動にとって大変有意義な情報交換の場となりました。

(記事 加納)



【サポセンからのお願い】



只今、2018年度登録団体の更新の手続きを行っています。メール及びお電話にてご案内をしておりますが、変更がある場合は変更届用紙の提出をお願いいたします。なお、変更または登録しないの申し出がない限り2018年度はこのまま自動更新とさせていただきます。



【編集後記】

皆さん、新年度はなぜ4月からかご存知ですか？一説には明治19年(1886年)に会計年度がはじまりました。昔の税金収入は農業の稲作だったので秋にお米を収穫し現金に換えて予算を編成するには1月からでは間に合はず4月がちょうど良かったとか。また当時世界一の経済国イギリスは4月が会計月となっていて、それを倣ったとも言われています。その後から学校年度も4月からになっていったんですね。なるほど納得しました！さあ～新しい年度がスタートします。

みなさま、これからもサポセンをどうぞ宜しくお願いいたします(^o^) by 加納



facebook



いいね！をお願いします！

<https://www.facebook.com/bambio.jp/>